

k i m i t o k u

キ ミ ト ク

君が得する情報で、「君と区」をつなげたい。台東区議会の活動をわかりやすくお伝えします。



特集

決算・委員会・
一般質問各報告

助成金制度のご紹介

視察いろいろ

平成 28 年第 3 回定例会 各委員会で話し合われたこと



各委員会の主な議題をピックアップし、決まったことなどをお伝えします。

常任委員会

企画総務委員会

平成 28 年度 行政評価の結果

事務事業を敵機的に検証することにより、社会経済状況の変化による行政需要に対応するとともに、区民ニーズに即した事務事業の効率的、効率的な執行を目的に実施しました。

- ・評価対象事業 455 事業
- ・類型化された事務事業 285 事業
- ・行政計画事業を構成する事務事業 274 事業

産業建設委員会

台東区立江戸下町伝統工芸館のリニューアルに向けた検討状況

伝統工芸館（ひさご通り）は平成 9 年 7 月に開設されました。施設や展示設備の老朽化・外国人の増加などを踏まえ、リニューアルするための検討委員会をつくり検討されました。

平成 28 年度台東区中小企業融資「年末特別資金」

毎年行っている、年末特別資金融資を今年も行います。

融資限度 : 500 万以内

貸付期間 : 1 年以内

金利 : 1.5% (本人負担 0.3%)

区民文教委員会

蔵前小学校改築の進捗状況

校舎解体工事の進捗状況の確認と、仮校舎への通学の安全確保（交通誘導員等の配置、集団登校の実施、めぐりんの活用など）について確認しました。

平成 28 年度台東区総合学力調査結果

平成 28 年 4 月 18 日・19 日に行われた小学校 4 年生から中学校 3 年生を対象にした学力調査結果と今後の対応について確認しました。

平成 29 年度区立幼稚園及び認定こども園（短時間）の園児募集

平成 29 年度の募集見込み数の確認と募集スケジュールを確認しました。

台東区立図書館の基本的な考え方

個人貸出数の減少や書籍販売額の減少などの図書館を取り巻く状況が変化しているなか、めざす図書館像と基本方針を明確にし、今後のサービス展開について確認しました。

まちづくり協議会

まちづくり協議会とは、それぞれ地域で活動する団体や個々の住民が自主的に作った組織で、地域の環境を良くすることや、市街地整備の推進などを協議する団体で、本区には12の団体があります。

特別委員会

文化・観光特別委員会

各地区のまちづくり協議会の活動状況

各まちづくり協議会の活動報告がされました。

浅草地区観光まちづくり推進協議会（一例）

第1部会 観光バス駐車場対策・具体案の検討及び浅草駅のバリアフリー化

第2部会 舟運ネットワーク・防災棧橋の観光活用

第3部会 浅草六区地区の地区計画推進・六区プロードウェイオープンカフェ

観光バス待合所の整備など

浅草保健相談センター（浅草小前）の1階に約60名分の待機所とトイレ4か所を設置し、併せて台東区民館の1階駐車場にも、約40名分の待機所をつくります。

環境・安全安心特別委員会

台東区地域防災計画の修正

- ①谷中防災コミュニティセンターの災害対策本部の代替施設機能の整理
- ②避難区民に対しても避難所開設情報などの情報提供を行う「台東防災」の配信開始
- ③風水害時における避難勧告等の判断基準を、外水氾濫、内水氾濫、土砂災害などの災害種別ごとの整理
- ④住宅の目標耐震化率を95%に計画
- ⑤大規模災害時において、緊急車両の通行ルートを迅速に確保するために、道路管理者による放置車両対策の強化に係る所要処置を実施
- ⑥災害時医療救護活動ガイドラインを今までの2区分を見直し、フェーズごとの6区分に細分化します。

台東区地球温暖化対策推進実行計画の進捗状況

平成27年度の区有施設全体の温室効果ガス排出量は、約12506tとなり、基準年となる平成20年度比で、約13.48%減少となりました。

子育て支援特別委員会

認可こども園の開設

忍岡こども園（仮称）が平成29年10月1日から池之端2丁目に開設されます。定員は73名（短時間18名・長時間55名）。

認可保育所の開設

スターキッズ保育園（仮称）が平成29年4月1日から上野桜木2丁目に開設されます。定員47名（3歳15名・4歳16名・5歳16名）。

こどもクラブ委託事業者の選定結果

4つのこどもクラブが平成29年4月から事業者が変わります。（下谷こどもクラブ、松葉こどもクラブ、浅草こどもクラブ、竜泉こどもクラブ）

橋場こどもクラブと玉姫こどもクラブの統合

石浜小学校の児童は、平成28年4月より、「石浜小学校放課後子供教室」を開設したことにより、自校内において、安全・安心な放課後の居場所が整備され橋場・玉姫こどもクラブの入会者数の減少が予測され、東浅草小学校の児童も利用している玉姫こどもクラブに統合することになりました。

※ここで取り上げた議案はあくまで一部です。他の議案や詳しい情報については台東区議会のHPなどでご確認ください。



決算特別委員会での総括質問の要旨をご報告します。

TOPICS

1

リバーサイドスポーツセンター陸上競技場
ユニバーサルデザインに基づく建物に !!

質問

あおしか公男議員

リバーサイドスポーツセンター陸上競技場は、エレベーターが設置されておらず、また、階段手すりが一部途切れていることから、障がいのある方は移動する際に苦労されています。本陸上競技場は、台東区公共施設保全計画の一期目に位置づけられていることから、観覧席に日差しよけ屋根を設けるなど大規模改修や改築などを行い、早急にユニバーサルデザインに基づく建物にすべきと考えます。



教育長答弁

現在、陸上競技場では、車イスを利用されている方や、階段利用の困難な方が観覧席を利用する際には、競技場横の車イス用のスペースや、一階席をご利用いただいているところです。ユニバーサルデザインの考え方に基づく施設整備につきましては、現在策定している新たなスポーツ振興基本計画のなかで検討してまいります。

障がい者スポーツにも対応を !!

東京オリンピック・パラリンピック大会へ向けて区民の気運も高まっています。陸上競技場にナイター設備を設置し利用時間の拡大を図ることや、芝生を張替え、ブラインドサッカーなどの障がい者スポーツにも対応できるようにすることで、陸上競技場を有効活用すべきと考えます。



陸上競技場内フィールドの有効活用については、2020年東京オリンピック・パラリンピック大会に向け、今後ますます区民のスポーツへの関心が高まっていくなかで、フィールドの有効活用を図ることは、障がい者スポーツの普及にもつながる有意義なものであると認識しております。フィールド部分の活用方法や照明設備の設置、人工芝の張替えにつきましても、新たな計画のなかで検討してまいります。

新産業を創出するための取り組み 区として新産業の 創出を!!



質問
あおしか公男議員



東京都は、地域を超えたインキュベータが連携し、創業予定者の発掘・育成・成長促進の支援を行う「インキュベーション HUB 推進プロジェクト事業」を展開しています。この都の広域的な取り組みを活用し、区として新産業の創出を図るなど、区内産業のさらなる発展を図っていくべきと考えます。



区長答弁

東京都の事業である「インキュベーション推進プロジェクト」を活用した広域的な創業支援施設による支援は、重要な取り組みであると認識しております。区としては、さまざまな業種で構成される本プロジェクトに対して、区内事業者に参加を働きかけ、その結果、新産業が創出されることを期待しております。今後、プロジェクトの参加者と既存企業とのマッチングを区が行うことにより、本区産業の技術革新を加速させてまいります。また、参加者へは資金融資の優遇制度や、創業相談などを周知し、創業希望者の区内誘致に取り組み、本区産業を支える人材確保につなげてまいります。

介護に関する負担軽減 介護従事者の 負担軽減を!!



質問
あおしか公男議員



今定例会において、介護ロボット導入支援に係る補正予算案が提出されたことは大いに評価できます。介護従事者の負担軽減を推進することは、介護現場の環境改善だけでなく、利用者へのサービス向上にもつながります。介護従事者の不足が今後も見込まれる中、介護ロボットなどの先進技術も含めた介護従事者の負担軽減をどのように考えておられるでしょうか。



区長答弁

国の推計によると、2025年には全国で約38万人の介護人材が不足すると見込まれており、介護従事者の確保や定着は大変重要であると認識しております。そのため今定例会に、介護従事者の負担軽減のため、介護ロボットの導入支援経費の補正予算を提案しています。今後は、本事業を実施していくなかで効果を検証するとともに、先進事例の情報収集に努めるなど、さらなる介護従事者の負担軽減につながるよう取り組んでまいります。

ハテナワード

ユニバーサルデザインとは？

文化・言語・国籍の違い、老若男女といった差異、障がい・能力の如何を問わずに利用することができる施設・製品・情報の設計（デザイン）のこと。

「できるだけ多くの方が利用可能なデザインにすること」が基本コンセプトです。対象を障がい者に限定しておらず、バリアフリーとは異なります。

※ここで取り上げた議案はあくまで一部です。他の議案については台東区議会のHPなどでご確認ください。

決算特別委員会では、平成 27 年度一般会計や 5 つの特別会計が認定されました。

平成 27 年度台東区各会計決算を認定しました。

一般会計

平成 27 年度一般会計・・・約 1001.4 億円

特別会計

国民健康保険事業会計・・・約 273.9 億円

後期高齢者医療会計・・・約 44.6 億円

介護保険会計・・・約 142.8 億円

老人保健施設会計・・・約 1.2 億円

病院施設会計・・・約 3.8 億円

総額約 1467.7 億円

平成 27 年度の一般会計決算における歳入では、主要収入源である特別区税は対前年度に対して約 8 億 7 千万円も上回る 205 億円。地方消費税交付金は、税率引き上げや消費動向による増などにより、対前年度で約 20 億円の増額。特別区交付金は、財源である法人住民税の国税化による減額の影響があったものの、固定資産税の増収などがあり、対前年度で約 3 億円の増額となるなど、歳入総額は前年度より 29 億円の増となり、1000 億円を超える結果となりました。

歳入の増額などの効果により、当初予算で計上していた基金の活用を 24 億円取り崩すことなく、基金は 54 億円積み増すこともできて、基金残高は約 402 億円。区債においては約 8 億円を活用しましたが、34 億円を返済しており、区債残高は約 162 億円。更に、次年度への繰越金は 39 億円となりました。

これらの結果から、台東区の財政状況は、リーマンショック後の状況と比べて、日本経済の緩やかな回復基調や、区が 25 年度より始めた「行財政基盤の強化に向けた取組」などの効果もあり、「今後の行政需要に応じていくための安定的な財政基盤の強化が、結果として少しずつ進捗している」と評価し、27 年度決算を認定いたしました。



現在の助成制度を各事業別にご紹介します。興味のある方はぜひご連絡ください。

※連絡先は裏表紙のプロフィールよりご確認ください。

◎ 地域の底力再生事業助成制度

町会が地域の課題を解決するための取り組みを推進し「地域力」の向上を図ることを目的に、東京都が行う助成事業です。 助成対象・・・①単一町会 ②各地区町会連合会 ③町会連合会

事業内容	補助・助成内容	限度額	具体例
地域の課題解決のための取り組み	助成対象経費の 10/10 ※2 回目以降は 1/2	単一町会 20 万円	地域交流運動会
防災・節電活動			スタントパイプ購入
青少年健全育成活動			自然体験、一時避難体験
高齢者の見守り活動		各地区町会 連合会 100 万円	高齢者向けサロンの実施、 高齢者向け冊子の作成
防犯活動		町会連合会 200 万円	防犯パトロール用ジャンバ、蛍光灯 などの購入、パンフレット作成
オリンピック・パラリンピック 気運醸成活動			オリ・パラ選手などの講演
複数の単一町会が共同して実施する 地域の課題解決のための取り組み			単一町会 50 万円（共同）
単一町会が他の地域団体（町会や 自治体を除く）と連携して実施する 地域の課題解決のための取り組み		単一町会 30 万円（連携）	学校の建て直し前のイベント （壁のペイントや演奏会開催）

◎ コミュニティ助成事業制度

コミュニティ活動に必要な備品の整備や、活力ある地域づくり活動などに対して、一般財団法人自治総合センターが、宝くじの社会貢献広報事業の一環として助成する事業です。

事業内容	助成金	具体例
コミュニティ活動に直接必要な設備など （建築物、消耗品は除く）の整備	100～250 万円	テント購入 お神輿の修理など
住民の需要の実態に応じた機能を有する集会施設 （コミュニティセ均一自治会集会所等）の建設又は 大規模修繕、及びその施設に必要な部品の整備	事業の 3/5 以内 ただし、1500 万円まで	建設工事費 建物登記費用 設計監理料など
地域の防災活動に直接必要な設備など	30～200 万円	—
青少年の健全育成に資するため、主として親子で参加 するソフト事業（スポーツレクリエーション活動、文化・ 学習活動、その他コミュニティ活動のイベントなど）	30～100 万円	—

※コミュニティ助成事業制度は、申請したら必ず助成されるものではありませんのでご注意ください。



第3回定例会での一般質問において、放置自転車や障がい者スポーツ振興について区長及び教育長に質問した発言をまとめました。

交通

放置自転車対策

台東区の駅周辺の放置自転車台数は全国で7位、23区で2位となっており、最近では観光客の自転車利用も増え、このままではさらに増加する懸念があるので、新たな対策が必要です。さらに、駅周辺といった点でとらえるのではなく、広く線でとらえることも必要なので、まず浅草通り全体をエリアとした、放置自転車対策をする必要があると考えます。

歩行者の安全な通行空間を確保していくためには、これまでの対策をさらに推進し、他の交通機関の利用促進や、富永議員ご提案の先進事例も検証し、新たな対策を検討してまいります。浅草通りでは、稲荷町駅周辺に駐輪場を整備しておりますが、田原町駅周辺にはない状況ですので、駐輪スペースの確保に努めるとともに、東京都と連携しながら、連続性のある対策を検討してまいります。

教育

障がい者スポーツ振興

障がい者スポーツ振興については、ユニバーサルデザインを基本とする必要があるので、新たに策定する「台東区スポーツ振興基本計画」を、ユニバーサルデザインの見地に立って取り組む必要があります。さらに、健常者と障がい者の共生社会を実現するために、小中学校において、子どもたちが障がい者や障がい者スポーツへの理解深め、共にスポーツに取り組む、相互理解を図ることが必要だと考えます。

教育委員会では、障がい者スポーツの体験会の実施や施設のバリアフリー化などを行っており、どなたでもスポーツをしやすい環境作りのための、整備や心のユニバーサルデザイン化へ取り組みを進めております。ユニバーサルデザインの視点をふまえた障がい者スポーツの振興については、スポーツ振興基本計画を策定するなかで検討します。小中学校での取り組みについては、オリンピック・パラリンピック教育をさらに充実させ、障がい者スポーツの普及啓発とより一層の障がい者理解の促進を図り、共生社会の実現に向けて努めてまいります。



※ここで取り上げた質問はあくまで一部です。他の質問については台東区議会のHPなどでご確認ください。



会派では、政策要望を区長に提出しました。

「平成29年度にむけた政策要望」を提出しました。

11月11日、「つなぐプロジェクト」は、「平成29年度にむけた政策要望」を区長に提出しました。

この「政策要望」は、「誰もが住んでいてよかった」「住み続けたい」と思える台東区実現に向けて、来年度に台東区として取り組んでほしい施策をピックアップした内容になっています。夏過ぎから、各議員へのヒアリングを行い、会議を重ねて決定いたしました。

今定例会の委員会や決算特別委員会、今後の一般質問や予算特別委員会などの審議を通して、行政に強く要望し、より良い台東区の実現に向けて取り組んでまいります。

平成29年度にむけた政策要望（要旨）

I. 行政経営の推進

- (1) 長期総合計画と行政計画の役割分担を再構築
- (2) ファシリティマネジメント活用による、区有施設の老朽化対策推進
- (3) 区有施設の管理運営の適正化
- (4) 開かれた区政の促進

II. まちづくり政策

1. 災害対策
 - (1) 地震に強い家づくりの推進や初期消火体制の充実
 - (2) 震災に強いまちづくりの推進
2. 環境
 - (1) 再生可能エネルギーの積極展開
 - ・省エネ機器、再生可能エネルギーの区有施設への充実
 - ・民間での省エネ機器、再生可能エネルギー機器への促進

III. 文化・伝統を活かした賑わい政策

1. 産業
 - ・区発注事業における区内業者の優遇施策の充実
 - ・地場産業の育成援助を充実
 - ・アメ横耐震補強工事における店舗への総合相談室を設置
 - ・伝統工芸への職人の技術のPRなど、サポート体制を充実
2. 観光
 - (1) ユニバーサルデザイン施策の推進

(2) 美化運動の推進

- (3) 観光バス駐車場の整備
- (4) 役所所有のアーカイブの更なる活用
- (5) したまちコメディ映画祭・演劇祭の更なる維持発展
- (6) 大衆芸能・文化的施設を観光の名所として活用

IV. 教育・子育て政策

1. 教育
 - (1) 国際観光都市として、英語教育を充実。(英語検定無料化)
 - (2) ボール遊びのできる施設の拡充
2. 子育て
 - (1) 多様なニーズに対応できる保育サービスの拡充
 - (2) 子ども・子育て会議の拡充(当事者の増加)
 - (3) 妊婦検診の適正化

V. 健康・福祉政策

1. 健康
 - ・早期発見につながる、がん検診の充実
2. 福祉
 - (1) 在宅介護・看護へのサポート体制の充実
 - ・小規模多機能型居宅介護や・定期巡回型介護などの充実
 - ・在宅介護の要である医療との連携を積極的に推進
 - ・ケアマネジャーの資質の向上



会派で、または個人で、勉強のためにさまざまな場所へ視察に行っています。先進事例などを学び、台東区政に活かしていきます。



会派視察

板橋区役所の受付案内サービスを視察しました。



板橋区では、本庁舎南館の改築を契機として、本庁舎の窓口サービスを飛躍的に改善するためのワーキンググループを設置し、「総合窓口のあり方」をまとめ、その「あり方」に基づく窓口改善策を、平成27年4月の新庁舎グランドオープンに合わせ、新たな総合窓口の開設で実現しています。改善の理念として、「もてなしの心による区民本位の窓口を実現する」をかけた、「待ち時間の短い窓口」「迷わずわかりやすい窓口」「安心で快適な窓口」の3つのテーマに取り組んでいました。複数窓口にわたる手続きを一度に受付することができる「受付案内システム」を導入し、窓口ごとの二重待ちを解消し、待ち時間の短縮に努めていました。



会派視察

荒川区役所を視察しました。



9月13日、防災まちづくり事業に関するワンストップサービスを推進している荒川区役所へ視察に伺いました。

荒川区は、平成23年に発生した東日本大震災を契機に、防災対策として空き家住宅の除去支援や、木造住宅密集地域（不燃化特区）における改善に向けた事業を展開されており、今回は、事業の経緯と概要について、事業実施の経費と効果についてお

伺いたしました。中でも年々増加傾向にあり地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしている空き家について荒川区が基本方針としている、空家化の防止、空家の流通・活用の促進、管理不全な空家などの対策、跡地の利用への誘導について詳細をお伺いしました。

富永りゅうじ



行政視察
京都市・大阪市を視察しました。



交通対策特別委員会にて、伺いました。京都市では、市内ほぼ全域を撤去強化区域として夜間・土日などの撤去も行い、駐輪場の整備も促進。10年間で放置自転車が20分の1となった

そうです。大阪市では、道路に乗降場所を設置し、警備員を配置すると渋滞が大幅に解消するなど効果が上がっています。放置自転車対策でも、駐輪場の整備や道路に子ども達の絵を張るなどして、12分の1まで減少させたそうです。



行政視察
新潟県新潟市・柏崎市・長岡市を視察しました。



産業建設委員会にて、伺いました。新潟市は空き家を地域のコミュニティの場としての活用をしていました。柏崎市はもの

づくりの中小企業へむけたものづくり活性化センターをつくり、技術支援や人材育成、企業間連携や産学官連携などを行い、市内事業者の活性に努めていました。長岡市では、駅周辺の空洞化を解消するために、市民が気軽に来られるような施設・環境を整備していました。



※視察
新潟県
上古町商店街

あおしか公男



行政視察
大阪府池田市を視察しました。



池田市では住宅環境の整備が進み、子育て世帯の市の中心部への移住が増え、そこに保育所が足りない反面、市の中心部以外の保育所で定員の半数にも満たない、保育所需要の地域格

が問題となっていました。そこで池田市では、送迎保育による地域間格差解消に向け、駅前など利便性の高い場所に設置した「送迎保育ステーション」において、郊外の保育所などへの送迎を実施していました。送迎保育事業のメリットだけでなく、出ている課題、今後の取り組みについても具体的な内容を伺いました。



行政視察
広島市を視察しました。



11月に広島市立藤の木小学校を視察しました。ここはICTを効果的に活用した授業研究、教員のICT活用指導力の向上、

デジタル教材の整備などに積極的に取り組んでおり、その実績は全国の教育の情報化にも貢献していることから、27年度文部科学大臣表彰を受賞しています。4つの授業風景を拝見後、現場の先生方と積極的な意見交換をしました。

発行人プロフィール

台東区議会議員 無所属
会派： つなぐプロジェクト
～すべては区民のためだけに～

まちの即戦力!!

とみなが

富永りゅうじ



略歴

1964（昭和39）年5月5日生まれ
趣味：スキー・ゴルフ・サッカー観戦
座右の銘：人生で迷った時は、厳しい方を選択し
楽は苦の種、苦は楽の種

◆学歴

浅草寺幼稚園 卒園
台東区立浅草小学校 卒業
明治大学付属明治中学校 卒業
駿台学園高等学校 卒業
玉川大学 経営工学部 入学

◆職歴

浅草すしや通りの和菓子店『菊水堂』の長男として生まれ、その後転業した日本そば店『浅草・十和田』に就職。現在、(株)菊水堂代表取締役専務として以下の経営に携わる。

- ・『浅草・十和田』
- ・あげまんじゅう店『仲見世・菊水堂』

◆地域での活動

台東区議会議員
台東区立田原小学校 元PTA会長
台東区立田原小学校 100周年実行委員長
共立女子中学高等学校 元PTA会長
元台東区青少年委員
台東区地区育成委員
浅草一丁目三栄町会 副会長

講演会事務所

〒111-0032 東京都台東区浅草 1-13-4
TEL：090-4843-3955
FAX：03-5539-4867
HP：<http://www.tominaga-ryuji.com/>
ブログ：<http://ameblo.jp/ryuji3955/>
Twitter：@3955asakusa
Facebook：tominaga.ryuji

台東区議会議員 無所属
会派： つなぐプロジェクト
～すべては区民のためだけに～

「安心・安全 たすけあい
の台東区」を、現場から!

あおしかくにお



略歴

1968（昭和43）年8月15日生まれ
趣味：旅行・筋トレ・プロレス観戦
尊敬する人：ビートたけし
好きな食べ物：アンズ・うまい棒

◆学歴

萬隆寺幼稚園 卒園
台東区立金竜小学校 卒業
台東区立台東中学校 卒業
東海大学付属高輪台高等学校 卒業
東海大学 工学部経営工学科 卒業

◆略歴

合羽橋栃木屋の次男として、西浅草3丁目に生まれ、地元小中学校を卒業。東海大学卒業後、株式会社丸井（赤いカードのマルイ）に入社。1992年から2015年3月までシステムの開発・改善・保守に携わる。2015年4月より台東区議会議員。

◆地域での活動

台東区立金竜小学校前 PTA 会長 6年
台東区立金竜幼稚園顧問
芝崎西町会元青年部部長 6年
元西部16ヶ町連合会副会長 8年
台東区雷門地区育成員

連絡先

〒111-0036 東京都台東区松が谷 3-20-11
コートプラザ上野松が谷 501
TEL：070-6970-3696
FAX：03-5539-4683
MAIL：kunio-aoshika@ozzio.jp
HP：www.aoshika.jp
Facebook：「青鹿公男」で検索してください